

NPO 法人★☆北区 AKT STAGE

スクールコンサート 演劇

【小学生対象作品】

「大きな足と小さな町」



企画書

NPO法人★☆北区アクトステージ

〒115-0056 東京都北区西が丘 1-44-5 星亀ビル 3F

TEL / (03) 5924-1126 FAX / (03) 5924-1127

ホームページ URL / <http://www.aktstage.com>.

スクールコンサート担当 伊澤玲 (いざわ れい)

企画主旨

前団体である北区つかこうへい劇団（2011年7月解散）が日ごろお世話になっている北区の皆様への感謝の意をこめて、より地域と密接した公演を展開。「演劇」という形で地域文化の発展に助力する活動を継承し北区 AKT STAGE が行う。

企画概要

開催期間：通年（要相談）

開催場所：応募いただいた小・中学校の体育館を中心に公演。

■部類 演劇

■制作 ★☆☆北区 AKT STAGE（アクトステージ）／元・北区つかこうへい劇団

■料金 1公演あたり ￥200,000ーより

※交通費・宿泊費は別途となります。料金に関しましてはご相談下さい。

■公演名「大きな足と小さな町」

※平成23年度小P連赤羽西地区 / 地区別研修会「親子で楽しむ夕べ」上演作品

作・演出 渡辺和徳（北区AKTSTAGE）

・出演 北区アクトステージ劇団員

・上演時間 各話 約50分

※上演終了後に簡単なアフタートーク（質問コーナー・発声教室などのワークショップ）にも対応できます。

※ワークショップのみのご依頼もお受けできます。

【★☆☆北区つかこうへい劇団 概要】

1993年11月、新しい文化の発信地をめざす北区と、10年来北区に住んでいたつかこうへいが手を組み、「今の日本の演劇界は、ハードであるところの劇場ばかり建って、肝心の劇団を育てていく土壌がない。劇団というソフトをつくりたい」という考えのもとに共同で創立したのが、『北区つかこうへい劇団』である。劇団員すべてを一般公募し、養成所で劇作家・演出家・役者を育て「将来は日本最強の劇団にする」という方針でスタート。

94年4月4日開校。2011年7月解散。

【★☆☆北区 AKT STAGE 概要】



※2012年 王子・北とぴあ 旗揚げ公演より

東京都北区を本拠地とし、北区つかこうへい劇団の意思を継ぎ、プロフェッショナルの演劇人として地域に根ざし、児童から大人までの幅広い地域住民に対し、舞台・演劇を創る過程の様々なトレーニング手法を取り入れたワークショップや公演体験を行うことにより、表現力やコミュニケーション能力の向上、文化的な街づくりに意欲ある人材育成など、地域の活性化に寄与する事業を行う団体。

【主な事業内容】

- ・劇団公演（年2回）
- ・劇団研究所
- ・劇作家ワークショップ
- ・演劇教室（一般参加型ワークショップ）
- ・演劇部（中高生向け演劇ワークショップ）
- ・子どもかがやき文化芸術事業 児童教室（共催 北区文化振興財団）

【「大きな足と小さな町」概要】

「大きな足と小さな町」とは



※2011年 桐ヶ丘郷小学校・出張児童教室より

「大きな足と小さな町」（「大きな巨人と小さな町」より改題）は、2012年2月、東京都北区・赤羽西地区のPTAの方からのお誘いで、地区別研修会「親子で楽しむ夕べ」のために書き下ろしたものです。登場人物は三人のみ、舞台セットもなく、上演時間も40分程度ときわめてシンプルな舞台です。その中で、子供たちを取り巻く様々な問題を踏まえながら、楽しみながら考えさせられ、帰り道に親子で話し合いながら帰れるような舞台を目指して作り上げました。この物語に登場する壁とは何なのか、巨人とはいったい誰のことなのか、この舞台を見た子供たちに考えてもらえたらと思っています。

【スクールコンサート演劇「大きな足と小さな町」】

あらすじ

これから始まるお話は、大きな壁がある小さな町の物語です。

この町には、一人のお姫様が暮らしていました。

そのお姫様には、お姫様を守る兵士がいて、

そしてお姫様の世話をするおばあさんがいました。

この町に住んでいるのは、これだけでした。

そう、たった三人でした。

でも三人は、この大きな壁のある小さな町で、

なに不自由なく暮らしていました。

だから壁があることなんか気にしていなかったし、

時には壁があることすら忘れていました。

…でも、なんでこの町には壁があるんだろう？

そしてもうひとつ、大事なことがあります。

この町の外には、それはそれは恐ろしい…巨人がいたんです。

